

資料 2

平成 30 年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 1 月 23 日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	事業の主旨	期間・回数	学習内容	主な講師
1	柳沢	つながりをはぐくむ公民館 ～みんなで語りあう集い～	学習	公民館で活動する市民が集い、公民館のこれからについて語りあう場として実施する。	3 月 17 日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 ・ グループ討議 	<p>長澤成次 (千葉大学名誉教授)</p> <p>荒井容子 (法政大学社会学部教授)</p>
2	芝久保	地域で創る教育ネットワーク講座	地域づくり	西東京市子ども条例を踏まえ、子どもの育ちを見守る地域の大人の活動を知り、公民館の役割について考える。	3 月 9 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもと公民館についての講義 (上田) ②地域活動の実践報告 (ゲストスピーカー) ③グループディスカッション 	<p>上田幸夫 (日本体育大学教授、日本公民館学会副会長、元西東京市公民館運営審議会委員)</p> <p>ほかにゲストスピーカー 3 名程度 (交渉中)</p>

3	芝久保	平和を考える講座 戦争遺跡フィールドワーク	学習・自己実現	身近な戦争の爪痕から戦争の悲惨さと実相を学び、戦争を身近な問題としてとらえ直し、平和の大切さについて改めて考える。	3月23日(土)	①講義：西東京市域の空爆の実相を学ぶ。 ②フィールドワーク：宝晃院、青面金剛庚申像、宝樹院、如意輪寺の戦争遺跡を講師の解説を聞きながら巡る。	牛田守彦（法政中学高等学校教諭、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会副代表） 西田昭司・渡部國夫（西東京平和のための戦争展実行委員会）
4	谷戸	谷戸市民映画会 「ひろしま」－1945年8月6日、原子雲の下の真実－	地域づくり	平和で有り続けること、そのための不断の努力が大切である事を理解する。西東京シネマ倶楽部との協働事業。映画上映会を通して、地域の交流を図る。	3月17日(日)	映画上映及びトークショー。	御手洗志保（テレビ番組制作ディレクター）
5	ひばりが丘	第10回 ひばりが丘フェスティバル	地域づくり	ひばりが丘公民館を中心に活動するサークルの活動成果を発表する場、また地域住民と公民館利用者の交流の場を目的に毎年開催。当日までの準備、検討は実行委員会方式で行わ	3月10日(日)	・参加団体 発表の部：14団体（新規2団体）合唱、器楽演奏、演劇、朗読など 展示の部：12団体 ちぎり絵、川柳、水墨画、手作り小物、創作作品など ・発表は午前の部、午後の部に分け、完全入れ替え2部制で開催する。	

				れ、フェスティバルを中心に各団体が繋がりをもちながらフェスティバルを創りあげている。			
6	ひばりが丘	いきいきナイスシニアを楽しもう！	学習・自己実現	高齢者にとって、社会とのつながりを失うことがフレイル（虚弱状態）の最初の入り口になることから、講座への参加を促すことで社会とのつながりが希薄になりがちな高齢者が家から出るきっかけとする。	3月18日（月）・20日（水）・22日（金）・26日（火） 全4回	①3/18…「日常動作が楽になる身体の使い方」 ②3/20…「楽しく体操1・2・3！」 ③3/22…「川柳で楽しく脳トレ」 ④3/26…「笑いヨガでイキイキと！」	①甲野陽紀（身体技法研究者） ②長谷川しのぶ（NPO法人HMSムーヴメントディレクター） ③佐藤俊朗（朗々）（川柳朗遊会講師。生涯学習インストラクター1級（川柳）） ④元木貞文（笑いヨガティーチャー）

平成 31 年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 1 月 23 日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	事業の主旨	期間・回数	学習内容	主な講師
1	谷戸	ロビーミニ講習会	交流	地域の方が気軽に参加し交流すること、オープンなスペースで公民館事業を見せることで公民館に関心を持ってもらう。特技をもつ市民にも講師をつとめてもらい、自己実現・地域貢献の場を提供する。	4 月～11 月 全 5 回	グループワーク ワークショップ (デコパージュ、アロマテラピー、コーヒー講座、 パステルシャインアート等)	西村菜穂子 (アート&クラフト DUO 認定講師) 他 4 名